

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 鹿児島県 】

学校名【 鹿児島市立東谷山中学校 】

1 実践テーマ	①・②・Ⅲ・Ⅳ・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生徒 1年生：257人 2年生：275人 3年生：274人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 保健体育・道徳 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( 夏休み課題レポート ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	・保健体育における授業内では、オリンピックについての歴史や創始者の本当の狙いなどをしっかりと説明することで、オリンピックへの関心を高めさせる。 ・夏休みにおける保健体育の課題では、オリンピックレポートを書かせることで、自分の興味のある種目や選手について焦点化し、自分の考えや感じたことなどを書き、オリンピックをより身近なものとして捉えさせる。 ・道徳教育では、パラリンピック出場者の佐藤さんの大会誘致活動や自身の大会出場をテーマにして、国際大会に関わる選手の心の在り方から学ぶべきことを生徒にも置き換えて考えさせる。
5 取組内容	①保健体育授業の体育理論分野での取り扱いについて 1年生：スポーツの多様性 1. スポーツの始まりと発展 2. スポーツへの多様な関わり方（スポーツのする・見る・支えることでの関わり方） 2年生：スポーツの効果と安全 1. スポーツと社会性 3年生：文化としてのスポーツ 1. スポーツの文化的意義 2. 国際的なスポーツ大会とその役割 3. 人々を結びつけるスポーツ その他 オリンピックの歴史・五輪マーク・古代オリンピック・女性出場者の推移 ドーピング・戦争とオリンピック・パラリンピック・ユニバーサルスポーツの紹介など  ②保健体育夏休み課題のオリンピックレポートについて 東京オリンピックが1964年以来に我が国である貴重な機会を受けて、全校生徒を対象に自分の興味のある種目や選手についての記事を貼り、それについての感想や考えの内容でレポート提出をさせた。 また、保健体育でも教科の観点が4観点から3観点になったことを受け、生徒1人1人の思考力・判断力・表現力を見る1つの資料として位置付けた。生徒1人1人が様々な種目の記事を選び、それについて思い思いの考えを記入し、提出させた。また、特に印象に残ったレポートにつ

いては学校内に掲示を行い、一層オリンピックについての関心を高めさせた。



③道徳教材のテーマとして本校2年生の道徳授業の題材として、オリンピック出場選手の佐藤さんのこれまでの活動やその時の心の在り方について考えさせることで、国際的にスポーツで活躍する選手の姿勢や取組について学び、互いに支えあう社会の大切さや喜びについて深く考えることのできた教材。  
佐藤さんから学んだことをさらに発展させ、今の自分たちができることについて考えさせた。

## 6 主な成果

①保健体育の授業内容として、どの学年も毎年扱う内容であるが、自国開催のオリンピックということもあって、生徒たちの関心が例年以上に高かったように感じる。そのため、授業での取り扱いも例年以上に丁寧に説明を行い、歴史や大会創始者の想いなどを深く伝えることができた。また、テストの時事問題にもオリンピック関連の問題を多く出題したことで、オリンピックに対しての情報を得ようとする動きが見られた。

②今年度は夏休み課題に「オリンピックレポート」を作成させた。時期的に開催期間と夏休みが重なっていたことで取り組ませやすかった。オリンピック前後の関心の高まりがあっただけでなく、レポート作成に当たって、保護者や祖父母からのアドバイスや意見交換をしたことなどがあったようである。

③授業後の道徳の感想には、人と人の支えあいが大切であり、社会を作る一員ということ意識づけがされた適正な教材であったと言える。

## 7 実践において工夫した点(事業の特色)

特にオリンピックレポートは、例年とは違う課題であったが、生徒の記入量や内容から注目度が高かったことがわかる。また、印象に残ったものを学校に掲示したことで、自分が見なかった記事についても見る機会となり、その記事に対して友だちと意見交換をしている姿もあった。

## 8 主な課題等

オリンピックをより身近に感じられるような取組ができるとさらに良いと感じる。例えば、出場した選手やメダリストの講演など。また、現地取材した人から大会会場の雰囲気やテレビには映らないことを話してもらうことや現地の写真や映像などを見ると、関心がより高めると感じた。

## 9 来年度以降の実施予定

オリンピックについては、引き続き保健体育の授業などでも触れていきたいが、まずは様々な競技の国際大会への関心も高めさせることが大事だと感じる。  
レポート課題については、国際大会やワールドカップなど大きな大会について焦点をあて、今後も同じように取り組ませたい。